

# 平成18年度 活動報告

## (2006年度)

---



夏休み小学生クイズラリー採点中!

1. 運営 .....	72
2. 教育普及 .....	75
3. 調査研究・資料収集 .....	79
4. 文化財保護 .....	81

# 1. 運 営

## 1. 平成 18 年度の投資的事業

事業名	予算(千円)	内 容	担当
しれとこライブラリー刊行事業	2,162	第 8 巻「知床の地質」の刊行 第 9 巻「知床の考古」の編集	合地 松田
国道緊急発掘調査	76,800	一般国道 334 号ウトロ道路改良工事に伴う発掘調査	松田
道道緊急発掘調査	11,841	道道斜里停車場美岬線舗道等道路改良工事に伴う発掘調査	松田
移動通信緊急発掘調査	1,350	斜里峰浜移動通信基地局新設工事に伴う発掘調査	松田

## 2. 予算(当初)

### 1) 博物館費

(千円)

### 2) 文化財保護費

(千円)

費 目	予 算	費 目	予 算	費 目	予 算
報 酬	131	役 務 費	1,662	報 酬	33
共 済 費	408	通 信 運 搬 費	440	賃 金	434
賃 金	215	手 数 料	1,206	旅 費	7
報 償 費	813	保 険 料	16	需 用 費	96
旅 費	404	委 託 料	4,887	消 耗 品 費	16
需 用 費	8,670	使 用 料 及 び 賃 借 料	307	印 刷 製 本 費	3
消 耗 品 費	1,393	原 材 料 費	84	修 繕 料	18
印 刷 製 本 費	2,445	備 品 購 入 費	180	光 熱 水 費	59
燃 料 費	1,068	負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	55	役 務 費	37
修 繕 料	608	公 課 費	26	通 信 運 搬 費	37
光 熱 水 費	2,944			負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	113
飼 料 費	212	合 計	17,842	合 計	720

### 3) 国道緊急発掘調査事業費

(千円)

費 目	予 算	費 目	予 算	費 目	予 算
給 料	3,836	消 耗 品 費	1,103	通 信 運 搬 費	124
職 員 手 当 等	2,972	印 刷 製 本 費	332	手 数 料	708
共 済 費	7,559	燃 料 費	219	委 託 料	8,838
賃 金	48,437	修 繕 料	34	使 用 料 及 び 賃 借 料	1,906
旅 費	554	光 熱 水 費	178		
需 用 費	1,866	役 務 費	832	合 計	76,800

### 4) 道道緊急発掘調査事業費

(千円)

費 目	予 算	費 目	予 算
共 済 費	6	役 務 費	185
賃 金	1,139	通 信 運 搬 費	29
需 用 費	326	手 数 料	156
消 耗 品 費	64	委 託 料	10,185
印 刷 製 本 費	262	合 計	11,841

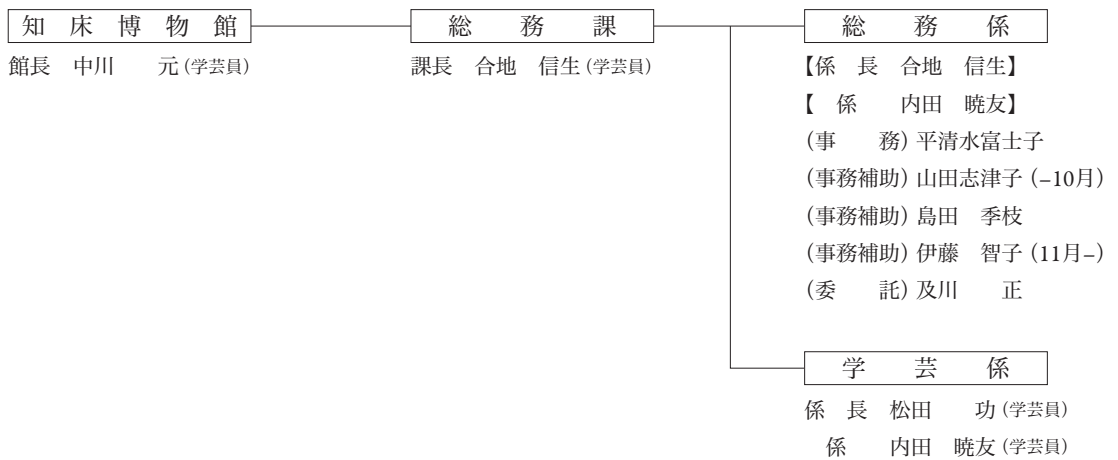
5) 移動通信緊急発掘調査事業費 (千円)

費目	予算	費目	予算
共済費	4	役務費	132
賃金	740	通信運搬費	27
需用費	231	手数料	105
消耗品費	84	委託料	164
印刷製本費	133	使用料及び賃借料	79
燃料費	14	合計	1,350

3. 組織・人員

【】は兼務

■斜里町立知床博物館



■斜里町埋蔵文化財センター



■博物館協議会 (任期:平成 17 年 4 月 1 日-平成 19 年 3 月 31 日)

会長 高橋 信広 委員 佐々木徳幸 植木 玲一 内山 博之 岩見 慶一 鎌田 貴義  
副会長 高木 寿一 相内 勝也 村上 涼子 橋本 勝

■埋蔵文化財調査委員会 (任期:平成 17 年 4 月 1 日-平成 19 年 3 月 31 日)

会長 川村 淳史 副会長 島田 哲夫 委員 河面 正吾 門馬 恵彦 今井 文雄

## 4. 博物館利用状況

### 1) 全入館者

月	一般	小中学生	幼児	計	有料入館者	開館日数	一日平均入館者(有料)
4月	816	107	16	939	440	26	36(17)
5月	1,034	177	35	1,246	681	26	48(26)
6月	1,636	242	132	2,010	1,057	26	77(41)
7月	2,018	414	76	2,508	907	27	93(34)
8月	1,584	852	115	2,551	1,223	27	94(45)
9月	1,187	60	45	1,292	786	24	54(33)
10月	866	54	23	943	538	25	38(22)
11月	437	170	8	615	175	24	26(7)
12月	244	43	21	308	44	24	13(2)
1月	263	51	41	355	93	21	17(4)
2月	503	42	20	565	277	24	24(12)
3月	678	0	0	678	277	26	26(11)
合計	11,266	2,212	532	14,010	6,498	300	47(22)

### 2) 団体入館者

月	町内団体		町外団体		合計(有料)	
	件	人数	件	人数	件	人数
4月	2	17	5	284	7(4)	301(236)
5月	2	44	3	92	5(2)	136(67)
6月	2	67	19	583	21(13)	650(515)
7月	1	17	12	237	13(11)	254(228)
8月	1	18	10	276	11(8)	294(161)
9月	2	70	12	289	14(8)	359(229)
10月	1	36	6	120	7(6)	156(115)
11月	2	51	1	20	3(1)	71(20)
12月	0	0	0	0	0(0)	0(0)
1月	0	0	0	0	0(0)	0(0)
2月	0	0	1	18	1(1)	18(15)
3月	0	0	2	46	2(1)	46(45)
合計	13	320	71	1,965	84(56)	2,285(1,631)



特別講演会(宮本長二郎氏)



機織り体験

## 2. 教育普及活動

### 1. ロビー展・特別展

期 日	題 名	内 容	参加者	担 当
(ロビー展)				
4月27日-5月21日	フィルムカメラの歩み	博物館の収蔵するフィルムカメラの展示	1,039	中 川
5月25日-6月25日	前田健イラスト展「知床の野鳥」	元知床財団スタッフの前田健氏による知床の野鳥のイラスト展	1,839	平清水
8月1-31日	知床写真クラブ写真展	知床写真クラブ会員による写真展	2,551	平清水
9月2-29日	しれとこ植物画同好会展	博物館を活動の場とする植物画サークルの作品展	1,183	内 田
12月9日-1月21日	斜里の鉄道～根北線と斜里駅	根北線と斜里駅の歴史について展示・解説	519	宮 内
(特別展)				
2月1日-3月11日	最近の発掘調査成果展	来運1遺跡とウトロ遺跡の発掘成果を公開	775	松 田
	合計 6 事業		7,906	

### 2. 講演会

期 日	題 名	講 師	内 容	場 所	参加者	担 当
(特別講演会)						
2月18日	旧石器・縄文期以降の住居構造の変遷	村本 周三	実際に焼いた復元住居と遺跡との比較、検証	映像展示室	31	松田
	火災住居から見える縄文文化					



オオワシの渡り観察会



斜里高校発掘体験

## 3. 博物館講座

期 日	講 座 名	内 容	場 所	参加者	担当
5月14日	生き物ミニ講座1「海鳥の話」	北の洋上にひろく分布する海鳥の話	博物館	8	中川
5月21日	海岸林植物観察会	海岸林の春の花を観察	町内	2	内田
5月21日	ウトロ遺跡見学・説明会	ウトロ遺跡で出土した住居跡などの見学	ウトロ	14	松田
5月27日	春の星座と土星・木星観察会	春の大曲線をつかった春の星座観察	博物館	8	合地
6月11日	生き物ミニ講座2「飛ぶためのしくみ」	飛ぶために進化した鳥の体の構造を解説	博物館	2	中川
6月24日	こども達のホエールウォッチング	船を使った羅臼の海での鯨観察会	羅臼	22	中川
6月25日	屈斜路火山と斜里平野の生い立ち	段丘地形や鳴き砂などの観察	町内・小清水・清里	6	合地
7月16日	摩周岳地質植物観察会	西別岳周辺の観察に変更	西別岳	7	合地
7月23日	生き物ミニ講座3	「土の中の小さな生き物たち」	博物館	4	中川
7月27日- 8月20日	夏休み小学生クイズラリー	小学生対象のクイズラリー	博物館	705	宮内
7月29日	夏の星座観察会	夏の三大角をはじめとする夏の星座観察	朱円	7	合地
7月30日	根北峠付近の植物観察会	根北峠周辺のダケカンバ林の観察	根北峠	6	内田
8月5日	夏休み体験講座1	はた織り体験	博物館	7	松田
8月6日	夏休み体験講座2	ウトロ発掘体験	ウトロ	11	松田
8月8日	夏休み体験講座3	メノウ(石)を磨こう	埋文センター	16	合地
8月9日	夏休み体験講座4	おし葉づくり	町内	2	内田
8月12日	ペルセウス座流星群観察会	ペルセウス座流星群の観察会	朱円	19	合地
8月13日	生き物ミニ講座4	博物館の収蔵庫探検	博物館	6	中川
9月17日	生き物ミニ講座5	北方四島の自然と動物	博物館	5	中川
10月14日	デジカメで天体写真撮影	デジタルカメラを用いた天体撮影	博物館	1	合地
10月15日	石磨き講座	北海道の宝石をみがいてペンダント・ネクタイピンを作る	埋文センター	3	合地
10月15日	生き物ミニ講座6	食べるためのしくみ	博物館	6	中川
11月5日	オオワシの渡り観察会	サハリンから渡ってくるオオワシの観察会	知布泊	15	中川
11月19日	しし座流星群観察会	しし座流星群の観察	博物館	2	内田
11月25日	秋の星座・アンドロメダ大星雲観察会	曇天のため中止	博物館	-	合地
11月26日	生き物ミニ講座7	生き物の冬越し	博物館	1	中川
12月28日	開館記念もちつき大会	ノロウイルス流行のため中止	博物館	-	松田
1月20日	ロビー展解説	「斜里の鉄道展～根北線と斜里駅」展示解説	博物館	6	宮内
1月20日	冬の星座観察会	曇天のため中止	博物館	-	合地
2月3日	特別展解説	「最近の発掘調査成果展」展示解説	博物館	19	松田
2月24日	流氷の海の動物観察会	羅臼の海の冬の動物観察会	羅臼	15	中川
3月24日	雪の結晶キーホルダーをつくろう	雪の結晶レプリカの作成(暖気のため中止)	博物館	-	合地
3月27日	はた織り体験講座	ロビー展にあわせたはた織りの体験講座	博物館	7	松田
	合計 33 講座企画 (29 講座実施)			932	



## 4. 生涯学習連携授業

### 1) 学校教育連携・公民館講座

期 日	事 業 名	内 容	場 所	担 当
4月19日	斜里高知床自然概論	会場・教材資料提供	博物館	中川
5月23日	常呂老人クラブ研修会	知床の世界遺産登録	博物館	中川
5月24日	斜里高知床自然概論	会場・教材資料提供	博物館	中川
5月31日	朝日小5年総合学習	郷土学習	博物館	各担当
5月31日	斜里高知床自然概論	会場・教材資料提供	博物館	中川
6月6日	網走管内理科教育研修会	世界遺産登録と知床の生物	博物館	中川
6月14日	斜里高知床自然概論	会場・教材資料提供	博物館	中川
6月21日	斜里高知床自然概論	会場・教材資料提供	博物館	中川
8月2日	峰浜小学校児童発掘体験	遺跡の発掘体験	峰浜	松田
8月22日	町内教員初任者研修	郷土学習	博物館	内田
8月23日	斜里高知床自然概論	分類と同定	博物館	内田
8月30日	斜里高知床自然概論	植物観察	大栄	内田
9月13日	斜里高知床自然概論	植物観察	博物館	内田
10月10-11日	斜里高遺跡発掘体験学習	発掘および測量体験	ウトロ	松田
10月18日	斜里高知床自然概論	斜里川の鳥類	斜里川	中川
10月19日	大谷幼稚園自然観察会	幼稚園周辺の自然観察	町内	中川
10月25日	斜里中職場体験	博物館業務の体験	博物館	各担当
11月8日	斜里高知床自然概論	オジロワシとオオワシ	博物館	中川
11月12日	網走中央小「多目的ホールの解放」	石磨き	網走	合地
11月15日	斜里高知床自然概論	シマフクロウ	博物館	中川
11月28日	斜里中総合学習	郷土学習	博物館	各担当
12月6日	斜里高知床自然概論	知床の火山活動	斜里高	合地
12月13日	斜里高知床自然概論	岩石薄片の製作と観察	博物館	合地
2月14日	斜里高知床自然概論	流氷と知床の地形	斜里高	合地
2月17日	分光第2自治会公民館講座	サハリンの経済発展	老人福祉センター	合地
3月10日	朱円自治会公民館講座	地震と津波	朱円公民館	合地
	合計 26 事業			

### 2) 生きがい大学専門課程

期 日	会 場	テーマ	受講生	担 当
4月20日	映像展示室	開校式、知床の自然をめぐる最近の話題解説	29	中川
5月11日	映像展示室	サハリンの生活と文化	30	合地
6月1日	映像展示室	知床半島の古環境分析結果からみたシカの食害の有無について	18	松田
6月22日	ウトロ	ウトロ遺跡発掘現場の見学	30	松田
7月20日	映像展示室	津軽藩士殉難事件の背景—近世の斜里・蝦夷地とロシアの南下	23	中川
9月21日	映像展示室	サハリンと北海道の生い立ち 1 (1億-2,000万年前)	29	合地
10月12日	映像展示室	サハリンと北海道の生い立ち 2 (2,000万年前-現在)	30	合地
10月26日	映像展示室	斜里・知床の野生蘭	27	内田
11月16日	映像展示室	羅臼湖湿原の植物	29	内田
11月30日	映像展示室	斜里の交通史、終了式	33	宮内・中川
2月21日	漁村センター	知床の火山活動	19	合地
		合計 11 講座	297	

## 5. 研修受入れ

### 1) 博物館学生実習

期 日	所属大学	内 容	参加者	担 当
9月5-15日	帯広畜産大学	大学における学芸員資格取得実習	1	各学芸員
	北海道東海大学		1	
	北海道教育大学釧路校		1	

### 2) 北海道大学文学部考古学実習

期 日	所属大学	内 容	参加者	担 当
9月22日-10月5日	北海道大学	フィールドワーク体験研修	31	松田

### 3) 教員長期社会体験研修

期 日	所 属	内 容	参加者	担 当
4月1日-3月31日	峰浜小学校	小学教員の職場研修	1	中川

## 6. 出版・広報活動

出版物名	発行期日	内 容	担 当	規 格	対象	部数
第 28 回特別展図録	1月31日	来運 1 遺跡	松田	A4 変 21 pp	一般	1,000
研究報告第 28 集	3月31日	知床周辺で行われた研究論文集	内田	B5 判 70 pp	一般	1,000
博物館のひろば No. 96	2月1日	斜里の鉄道～根北線と斜里駅	宮内	A4 判 2 pp	町内全	6,000
博物館のひろば No. 97	3月1日	斜里・知床のネコノメソウ	内田	A4 判 2 pp	町内全	6,000
タンネウシ No. 173	4月25日	行事案内・博物館情報	平清水	A4 判 2 pp	会員他	500
タンネウシ No. 174	5月28日	行事案内・博物館情報	平清水	A4 判 2 pp	会員他	500
タンネウシ No. 175	6月25日	行事案内・博物館情報	島田	A4 判 2 pp	会員他	500
タンネウシ No. 176	7月27日	行事案内・博物館情報	島田	A4 判 2 pp	会員他	500
タンネウシ No. 177	8月25日	行事案内・博物館情報	島田	A4 判 2 pp	会員他	500
タンネウシ No. 178	9月29日	行事案内・博物館情報	島田	A4 判 2 pp	会員他	500
タンネウシ No. 179	10月26日	行事案内・博物館情報	島田	A4 判 2 pp	会員他	500
タンネウシ No. 180	11月28日	行事案内・博物館情報	島田	A4 判 2 pp	会員他	500
タンネウシ No. 181	12月22日	行事案内・博物館情報	島田	A4 判 2 pp	会員他	500
タンネウシ No. 182	1月23日	行事案内・博物館情報	島田	A4 判 2 pp	会員他	500
タンネウシ No. 183	2月14日	行事案内・博物館情報	島田	A4 判 2 pp	会員他	500
タンネウシ No. 184	3月22日	行事案内・博物館情報	島田	A4 判 2 pp	会員他	500
ウェブサイト公開	随時	展示案内・行事案内・出版物他	内田		町内外	



# 3. 調査研究・資料収集

## 1. 調査研究活動

調査名	期間	内容	担当
埋蔵文化財調査			
ウトロ遺跡発掘調査	4-11月	ウトロ地区の縄文・オホーツク期遺跡発掘調査	松田
クシュンコタン遺跡発掘調査	5-6月	港西町地区の縄文からアイヌ文化期遺跡発掘調査	松田
峰浜海岸1遺跡発掘調査	7-8月	峰浜地区の縄文から縄文文化期遺跡発掘調査	松田
行政連携調査			
知西別-遠音別稀少植物調査(環境省)	7月	シレットコスミレを中心とした稀少植物調査	内田
共同調査			
発掘調査(北大)	9-10月	ウトロ・チャシコツ岬下B遺跡発掘調査	
オジロワシ繁殖モニタリング調査 (オジロワシモニタリング調査グループ)	4-6月		中川
羅臼湖植物相調査(北大総合博物館)	5-10月	羅臼湖の植物相調査	内田
個別調査			
稀少鳥類調査	通年	オオワシ・オジロワシ越冬生態他, 稀少鳥類調査	中川
考古・歴史資料調査	通年	町内考古資料(縄文・オホーツク期)調査	松田
町内植物相調査	通年	町内全域対象の標本をとまう植物相調査	内田

## 2. 資料収集・保存事業

分野	期間	内容	担当
植物資料作成・保存	通年	植物採集, 標本作成・整理	内田
各分野の資料受入れと保存	通年	資料収集・整理・保管・登録台帳整備	各学芸員

### 新規受入れ資料

地質	動物	民俗	歴史	考古	合計
6	91	76	25	2	200



博物館のひろば 96



第28回特別展図録

### 3. 個別活動

#### 中川 元

担当: 動物

##### 1) 報文

中川元, 2006. 知床の世界遺産登録と野生生物の保全. 日本森林学会北海道支部論文集 54: 1-19.

中川元, 2006. 世界遺産知床がわかる本. 196 pp. 岩波書店, 東京.

##### 2) 館外活動

2006.6.28 衆議院文部科学委員会視察随行説明, 斜里町

2006.8.2 札幌学院大学公開講座「人間論特殊講義」講師, 札幌市

2006.8.2 他 知床世界遺産候補地科学委員会委員, 札幌市・斜里町

2006.8.12 他 知床国立公園利用適正化検討会議委員, 斜里町・釧路市

2006.9.20 ユネスコ世界遺産国際シンポジウム講師, 斜里町

2006.9.21 北見ことぶき大学講師, 北見市

2006.9.23 東京農業大学生物産業学部「オホーツク実学講座」講師, 網走市

2006.11.17 他 絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会哺乳類分科会委員, 東京都

2007.1.31 シマフクロウ保護増殖事業ワーキンググループ委員, 釧路市

2007.2.1 北見工業大学特別講演講師, 北見市

2007.3.27 野生生物保護対策検討会オオワシ・オジロワシ保護増殖分科会委員, 釧路市

#### 合地信生

担当: 地質

##### 1) 報文

なし

##### 2) 館外活動

なし

#### 松田 功

担当: 考古・昆虫

##### 1) 報文

松田功, 2006. 斜里町文化財報告 XXVIII 来運 1 遺跡発掘調査報告書. iv + 38 pp. + 12 pls. 斜里町教育委員会, 斜里.

松田功・高岡由香, 2006. ウトロ遺跡発掘調査概要報告書. 4 pp. + 13 pls. 斜里町教育委員会, 斜里.

##### 2) 館外活動

なし

#### 内田暁友

担当: 植物

##### 1) 報文

小荷田行男・澁谷千尋・内田暁友・Stefan Hotes・牛崎方恵・秋山恵美子, 2006. 北海道・釧路湿原東部 塘路湿原の自然. 標茶町郷土館報告 18: 55-67.

##### 2) 館外活動

なし



トウゾクカモメ保護



保護アザラシのリリース

# 4. 文化財保護

## 1. 指定文化財

### 1) 国指定文化財

斜里町には下記の国指定特別天然物（鳥類 1 種）と天然記念物（鳥類 6 種，蝶類 1 種）が周年あるいは季節的に生息しており，生息地の保護，事故防止対策，密猟防止対策，生息状況調査等を実施している。このうち，オジロワシ，オオワシ，エゾシマフクロウ，タンチョウの 4 種は「種の保存法」による国内希少野生動植物種にも重ねて指定されており，環境省との連携の元に保護対策を実施している。

名 称	指定年月日	所 在 地
特別天然記念物 タンチョウ	昭和 27 年 (1952) 3 月 29 日	地域を定めず，主な生息地—北海道
天然記念物 オジロワシ	昭和 45 年 (1970) 1 月 23 日	地域を定めず，主な生息地—北海道
オオワシ	昭和 45 年 (1970) 1 月 23 日	地域を定めず，主な生息地—北海道
エゾシマフクロウ	昭和 46 年 (1971) 5 月 19 日	地域を定めず，主な生息地—北海道
クマガイ	昭和 40 年 (1965) 5 月 12 日	地域を定めず，主な生息地—北海道
ヒシクイ	昭和 46 年 (1971) 6 月 28 日	地域を定めず，主な生息地—北海道
マガン	昭和 46 年 (1971) 6 月 28 日	地域を定めず，主な生息地—北海道
カラフトトリシジミ	昭和 42 年 (1967) 5 月 2 日	地域を定めず，主な生息地—北海道

### 2) 北海道指定文化財

朱円周堤墓は縄文時代後期の墳墓群で，墓をめぐる土堤が環状に築かれているところから周堤墓または環状土籬と呼ばれる。戦後間もない昭和 23-24 年に河野広道北海道教育大学教授（当時）によって発掘調査が行われた。周堤墓は 2 つあり，直径 28 m と 32 m の円形の土堤をめぐるしている。出土品は知床博物館で常設展示している。

朱円堅穴住居跡群は斜里沿岸に広がる海岸砂丘上にあり，森の中におびただしい数の窪んだ住居跡が見られるため「朱円千穴」と呼ばれて親しまれてきた。住居跡の形態から，この砂丘には数千年にわたる縄文文化中期から続縄文文化期，それに続く擦文・オホーツク文化期の様々な人々が住み続けたと考えられている。

オシクシクシ粗粒玄武岩柱状節理はウトロの南西約 5.5 km に位置するオシンコシン崎にあり，その姿から「俵石」と呼ばれている。ここに分布する第三紀中新世の頁岩層に粗粒玄武岩の岩脈が貫入するという地下でのマグマ活動に加え，オホーツク海の激しい風化作用によって岩石が浸食され生れた美しい縞模様の特徴となり，横向きの柱状節理と岩柱に直角に発達する縞状構造が見られる。岩石標本を知床博物館で常設展示している。

斜里海岸の草原群落は斜里川西方の海岸，東西約 2.5 km にわたる自然草原の群落で，エゾスカシユリ・ハマナス・エゾゼンテイカなど 50 種をこえる野生の草花が観察できる。周囲は網走国定公園に指定され，遠方には斜里岳，海別岳，知床連山が見えるオホーツク地方の景観を代表する場所でもある。

名 称	指定年月日	場 所	所 有 者	面積
史跡 斜里朱円周堤墓および出土遺物	昭和32年(1957)1月29日	朱円西区東一線	斜里町	1.4 ha
朱円堅穴住居跡群	昭和42年(1967)6月22日	朱円国有林内	農林水産省	24.2 ha
天然記念物 オシクシクシ粗粒玄武岩柱状節理	昭和48年(1973)3月14日	オシンコシン海岸	国土交通省・農林水産省	2.2 ha
斜里海岸の草原群落	昭和25年(1950)8月28日	美咲国有林内	農林水産省	96 ha

\* 所有者が国の文化財の管理団体はいずれも斜里町。

### 3) 斜里町指定文化財

初代斜里場所請負人三代目村山伝兵衛が寛政8年(1796)に豊漁を祈願して寄進した社祠である旧斜里神社拝殿、文久2年(1862)斜里場所請負人藤野家の支配人三右衛門によって斜里神社に奉納された絵馬、享和元年(1801)幕府役人北陰政幸らが斜里旅行中に宗谷から止別までの地名を折込み和歌にし斜里神社に奉納した歌枕額は知床博物館で常設展示している。

また、文化4年(1807)斜里地方の沿岸防衛を命ぜられた津軽藩士100余名が厳しい越冬期間中に浮腫病にかかり次々と死亡し、翌年故郷したのはわずかに17名という「津軽藩士の殉難事件」に関連した文化財が6件指定されている。禅龍寺保管の「津軽藩士死没者の過去帳」を除き、これらは町民公園など博物館周辺で公開されている。

平成15年(2003)には新たに斜里神社石灯籠が指定された。これは天保5年(西暦1834年)に奉納された一対の石灯籠で、三上伴七(当時のシャリ場所支配人)と畑藤清六郎右衛門(シャリ場所を請け負っていた藤野喜兵衛の持ち船住吉丸の船頭)が斜里神社に寄進したものと考えられている。

名 称	指定年月日	場 所	所 有 者	種 別
旧斜里神社拝殿	昭和51年(1976)11月8日	本町49番地2知床博物館	斜里町	建造物
絵馬	昭和51年(1976)11月8日	本町49番地2知床博物館	斜里町	有形
歌枕額	昭和51年(1976)11月8日	本町49番地2知床博物館	斜里町	有形
津軽藩士死没者の供養碑	昭和57年(1982)7月1日	本町49番地2町民公園	斜里町	有形
津軽藩士死没者の供養碑	昭和57年(1982)7月1日	朝日町4番地2	日蓮宗日照寺	有形
津軽藩士死没者の過去帳	昭和57年(1982)7月1日	本町47番地2	曹洞宗禅龍寺	有形
津軽藩士シャリ陣屋跡	昭和62年(1987)7月1日	本町52番地24		史跡
津軽藩士墓所跡	昭和62年(1987)7月1日	本町49番地2町民公園		史跡
シャリ運上屋(会所)跡	昭和62年(1987)7月1日	港町8番地28		史跡
斜里神社石灯籠	平成15年(2003)3月26日	本町44番地斜里神社境内	斜里神社	有形

\* 斜里朱円環状土籬の出土遺物および上の町指定文化財3件は、知床博物館で常設展示されている。

## 2. 登録文化財

旧根北線は、知床半島の基部を横断し北見地方と根室地方を結ぶ路線として昭和13年に着工された。昭和15年には第一幾品川橋梁(通称越川橋梁)が斜里町越川地区に完成。しかし鉄道建設工事はこの年に中断され、橋梁は使われないまま戦後を迎え今日に至った。

越川橋梁は長さ147m、高さ21.7mの10連アーチ型コンクリート橋で、コンクリート鉄道橋としては北海道最大である。昭和48年に国道の改良工事によって橋脚の2本が撤去されたが、河畔林など周囲の自然環境にとけ込み、美しい姿を今に留めている。また、戦時下の鉄筋を使用しない構造にも特徴があり、当時の土木技術を現代に伝える建造物である。

名 称	登録年月日	場 所	所 有 者	種 別
旧国鉄根北線越川橋梁	平成10年(1998)7月23日	字越川245番8他	斜里町	有形

## 3. 埋蔵文化財

一般国道334号ウトロ道路改良工事に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査を1箇所の遺跡で、道道斜里停車場美岬線舗道等道路改良工事に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査を1箇所の遺跡で、斜里峰浜移動通信基地局新設工事に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査を1箇所の遺跡でおこない、合計3箇所の遺跡調査を実施した。

### 1) ウトロ遺跡

登載番号: I-08-1、面積: 2,300㎡、期間: 平成18年4月15日-11月10日。

ペレケ川右岸の標高約4-7mの海岸砂丘上に位置し、埋め立てた港湾部をのぞくウトロ中心市街地全域

がこの遺跡に含まれる。調査の結果、遺構は縄文晩期の土壇墓 12 基、土坑 1 基、続縄文文化期の竪穴住居 1 軒 (昨年度の続きのもの)、土壇墓 2 基、オホーツク文化期の竪穴住居跡 4 軒、土坑 2 基、屋外石囲い炉 15 基、時期不明の土壇墓 3 基、土坑 19 基、屋外石囲い炉 1 基、焼土遺跡 3 箇所を確認した。遺物は土器 36,449 点、石器 19,630 点、レキ 158 点、炭化物他 448 点の合計 56,735 点であった。土器は縄文晩期から擦文文化期のものまで出土しており、主なものは続縄文文化期前半の宇津内 II 式土器とオホーツク文化期の貼付文土器であった。

## 2) クシュンコタン遺跡

登載番号: I-08-49. 面積: 795 m<sup>2</sup>. 期間: 平成 18 年 5 月 1 日-6 月 3 日.

斜里市街地の西方、斜里川左岸の海岸砂丘上に位置する。調査の結果、遺構は擦文文化期の砂岩遺構 1 箇所が検出された。発掘調査により、擦文土器 1 箇所とトビニタイ土器破片数点が出土した。本報告の中では以前に採取された骨角器や金属製品、陶器などを紹介した。またガラス玉類の化学分析も実施し結果を公表した。

## 3) 峰浜海岸 1 遺跡

登載番号: I-08-10. 面積: 105 m<sup>2</sup>. 期間: 平成 18 年 7 月 25 日-8 月 10 日.

斜里市街地から東へ約 15 km、峰浜市街地の海岸段丘上に位置する。調査の結果、遺構は縄文中期の竪穴住居 1 軒が出土した。焼失住居であり、床一面に焼土がみられ炭化材の一部も残っていた。遺物は土器 88 点、石器 353 点、レキ 11 点、炭化物他 30 点の合計 482 点であった。土器は縄文早期から中・晩期、続縄文文化期のものが出土した。



クシュンコタン遺跡



峰浜海岸 1 遺跡